

水俣病調停五人委初会合

熊日1959.11.29

水俣病紛争を解決するための第一回調停委員会は二十六日に開かれた。寺本知事、岩尾県議会議長、中村水俣市長、河津東町村会長、伊豆熊日常任顧問の五調停委員の初顕合わせで、オブザーバーの川瀬福岡通産局長、岡全漁連専務は十二月一日の第一回委員会から出席する。初会合では①知事が世話をとなつて会長はおかない②設置条例はつくれない③費用は県の予備費から出すという運営方法などを決めたあと“調停の範囲”について協議、調停の中心は不知火海沿岸漁民への漁業補償とする方針でこの場合水俣市漁協は八月に工場との交渉で三千五百万円の補償金をすでにもらつてしているとの理由で、こんどの漁業補償から除外することとした。患者や遺家族への補償を調停に入れるかどうかについては結論が出て次回に持ち越しした。